

9月6日：連休明けのVN指数は主力株が買われ、5日続伸

投資家のリスク選好の流れは続き、主力株が買われ、週明けのVN指数は上昇した。

ホーチミン市場のVN指数は0.88%（11.74ポイント）高の1,346.39ポイントで取引を終えた。

同指数は先週1.63%と上昇した。9月2日から始まった4連休前までにすでに3日続伸していた。

騰落別では300銘柄が上昇、106銘柄が下落、42銘柄は変わらずだった。

出来高も高水準で、売買高は9億4,440万株を超え、売買代金も28兆2,000億ドン（12億3000万米ドル）を超えた。

幅広い業種の大型株が買われ、指数は上昇した。

VN30指数は1.02%（14.6ポイント）高の1,441.51ポイントだった。

同指数採用銘柄のうち、26銘柄が上昇、6銘柄が下落、1銘柄のみ変わらずだった。

その中でもホアファットグループ（HPG）は4.07%高と上昇率でトップに。ビンホームズ（VHM）、ペトロベトナムガス（GAS）、ビングループ（VIC）は、それに続いた。上げ幅は0.96～2.03%だった。

情報技術や銀行セクターの銘柄もマーケットの上昇に寄与した。

FPTグループ（FPT）+2.7%、テクコムバンク（TCB）+1.35%、ベトコムバンク（VCB）+0.6%、軍隊商業銀行（MBB）+1.43%とそれぞれ上昇した。

しかし、マサングループ（MSN）、ベトナムゴム工業グループ（GVR）は1.6%を超える下げとなり、マーケットの上昇の重しとなった。

「8月の出来高は前の月と比べて改善した。8月20日には一日当たりの売買高が約1兆2,000億ドン、売買代金が約30兆ドンと過去最高を記録した」（ホーチミン取引所のマンスリーレポート）

これは過去21年間で最も大きな商いだった。

月間では売買代金が約 506 兆 8,000 億ドン、売買高が 154 億 7,000 万株に達した。

一日当たりの平均売買代金は前月比 13.95%増の 23 兆ドン超、同じく平均売買高は前月比 16.63%増の 7 億 336 万株となった。

ハノイ市場の HNX 指数も 0.64% (2.21 ポイント) 高の 345.63 ポイントだった。

売買高は 1 億 9,480 万株を超え、売買代金は 3 兆 8,000 億ドンとなった。

その一方で外国人投資家は前回の取引に続いて両市場で合わせて 3,438 億 5,000 万ドンを売り越した。

売り越し金額は、ホーチミン市場で 2,915 億 9,000 万ドン、ハノイ市場で 522 億 6,000 万ドンとなった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。